

THEリアルタイム

発行者 サポートセンター連 広報担当 横浜市旭区柏町 59-2 Tel 045-360-9778 Fax 045-360-7004

社会福祉法人 訪問の家 ホームページ <http://www.houmon-no-ie.or.jp/>

旭区地域自立支援協議会 ホームページ <http://asahiku-net.com/>

サポートセンター連の活動を基にした地域生活支援情報誌！

Real shot



九月十四日(土)第十二回連ふれあいまつりを開催致しました。旭区のキャラクターあさひくん、今年は旭区誕生五十周年のハッピーを着て、連に来てくれました。そんなあさひくんと一緒に、今回も日頃お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちを伝えようと連一同一丸となってお祭りに取り組ませて頂きました。

今年のアトラクションステージでは「ゆるるるず」さんという沖縄三味線を演奏していただける団体が参加してくださり、演奏に合わせながら皆で踊りました。連の職員や利用者さんはこの日の為に事前に練習を重ね、当日参加の地域の方もたくさんの方が踊り、ステージを盛り上げてくれました。

【ふれあいまつり実行委員 堤】



共に汗を流す“つながり”に感謝！

9月14日（土）、今年で12回目となる「連・ふれあいまつり」を、幸運にも天候にも恵まれ無事に開催することができました。当日は大変多くの方に来場いただき、とてもにぎやかで笑顔あふれるおまつりとなりました。開催にあたってさまざまな形でご支援いただいた皆さま、誠にありがとうございます。また、近隣の皆さまのご理解ご協力にも心より感謝いたします。

さて、とても多くの方でにぎわったおまつりでしたが、その中で、おまつりの目玉企画でもある「お餅つき」についてお話をしたいと思います。

皆さんは、ふれあいまつりのつきたてお餅を食べてくれましたか？
今年も自治会の皆さんや青少年野外活動センターの方に協力いただき、お餅つきの体験含め、行列ができるほどのにぎわいぶりでした。



連・ふれあいまつりで、地域の方への感謝を込めて「お餅つき」を始めて今年で3年目。実はこの企画を始めきっかけは、こども自然公園にある青少年野外活動センターの職員、板宮さんとの出会いでした。自身も障害のお子さんを持つ父親で、「近くなのでなにかあれば協力しますよ！」と仰っていただきました。ちょうどそのとき、私たち連は、自治会の方たちとなにか一緒に取り組むことはできないか？と考えていたときで、板宮さんとの出会いの後、「これだ！」とひらめいたのがお餅つきでした。板宮さんからは「一緒にやりましょう！」と、器材とノウハウはうちに任せて下さいと言ってきて、当時の自治会長の方からも、「いいですね！」と快く話を聞いてくれました。そして3年前のふれあいまつりからお餅つきは始まりました。

しかし今年の春、不慮な事故によって板宮さんは亡くなってしまいました。
家族思いの板宮さんの突然の死、ご家族の悲しみはいかばかりかと拝察します。

そういった中での今年のお餅つき、青少年野外活動センターの方からは、「板宮さんの思いを私たちがしっかり引き継ぎます！」と涙声になりながらも力強く言ってくれました。そして引き続き自治会の方もたくさんお手伝いに来てくれて、「今年も頑張るよ！」と頼もしい言葉もいただきました。

私たちは、つきたてお餅を楽しみに来場してくれた人たちの“笑顔”はもちろん嬉しいですが、自治会の方たちと一緒に汗を流せることにも喜びを感じています。

サポートセンター連は、「障害があっても地域の中で自分らしく暮らしたい！」という当事者の思いを実現するために整備された施設です。そして、連を利用している一人一人の方が地域とつながりやすくするためにも、連という施設のつながり方が大切になります。毎年開催している、ふれあいまつりの何気ない場面ではありますが、地域の方と共に汗を流せる場が増えることで、障害者施設と地域の関係はさらに太いつながりになっていくものと考えます。そのようなお餅つきをこれからも大事にしていきたいと思うのです。まさにおまつりパワーです。

最後に

今年のお餅つきのにぎわい、空の上の板宮さんに届いて欲しいなぁと願う一日でした。

白鳥

第12回 ふれあい祭り “みなぎるThank you!!” を皆さまへ

今年のふれあい祭りは、昨年以上に多くのお客様にご来場いただき、各ブースの看板には早々と“完売御礼”の札が並び大盛況でした。スローガンの字を入れたタオルも好評でした。私は昨年に続きイベント実行委員を担当させていただきました。

私が改めて感じたのは人と人の繋がりで。 “みなぎる Thank you!!” のスローガンのもと、利用者、職員に加えて自治会、青少年野外活動センターの皆さまを始め、多くのボランティアの皆さまに支えられることで地域の方々へ感謝の気持ちを伝える事ができたと感じております。お祭りを前に近隣にお住いの方からは「毎年楽しみにしています」というお言葉を頂いたり、連にボランティア体験で来た子ども達からは「連のお祭り知ってます」「今年も遊びに行くよ」という嬉しい声も聞きました。



入口の看板は今年も工房2が作りました。

みなぎる THANK YOU!

自治会の皆さまのご協力の元、恒例のお餅つきです



今年の開会宣言は岡村さん！
くす玉を引いて
レッツ！スターティン！



みなさんの愛がこもった製品やクッキーを販売しました。

今年も、様々な形で多くの方がボランティアに参加して下さいました。総勢91名。ありがとうございました。

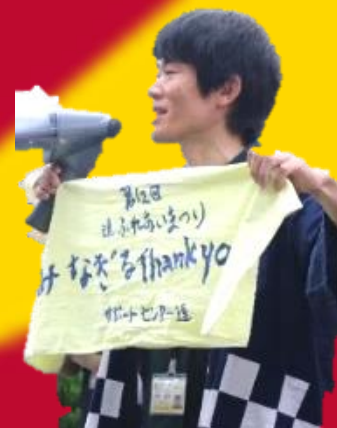


沖縄三線の演奏「や〜る〜ず」と一緒にみんなで踊りました

ふれあいまつりを知っている人がいる、楽しみにしてくれる方がいるのは本当に有り難いことです。今後もこのお祭りを通して様々な人と人とがどこかで繋がりがあっていく、一つのきっかけになると良いなと思っています。そういう意味でも次年度はもっと多くの方にお越しいただきたい。心よりお待ちしております。最後まで読んでいただきありがとうございました。

そんな皆様にも “みなぎる Thank you!!”

(実行委員長 天内)



地域交流イベント

おもちゃ文庫ミニイベントでは
普段おもちゃ文庫を利用して下さっている親子さんや
柏保育園の園児さんたちが参加して下さいます。



おもちゃ文庫ミニイベントおはなし会
つくんこさんは毎回
ボランティアで来て来ています。

連では色々な地域交流イベントを行なっています。
上半期に行ったイベントのご紹介です

- 5月、7月、9月「おはなし つくんこ」さんによるおはなし会
- 6月「みんなでしゃぼん玉」
- 7月 スイカ割り大会
- 8月 連・GALLERY（作品展）

おもちゃ文庫ミニイベント「みんなでシャボン玉」



連の地域交流イベントは
連の利用者さんと職員、地域の方々や
柏保育園のちびっ子達、地域の親子さん等…みんなで楽しんでいます。

今回は8月のスイカ割り大会に **クローズアップ!**

始めて行ったスイカ割り大会には、おもちゃ文庫を利用されている親子さんや
お隣の柏保育園の園児たちが参加してくださり、大変盛り上がるイベントとなりました。
当日はとても暑く、まさに夏! スイカ割り日よりでした。

初めてスイカ割りをされるというお子さんも多く
最初は遠慮して遠くで見ている
照れてお母さんの後ろに隠れてしまう様子がありましたが
保育園のおにいさん、おねえさんたちが手本を見せてくれたおかげで
緊張していたお子さんたちも次々と棒を持ってスイカ割りに挑戦。
連の利用者さんや柏保育園の皆さんの声を頼りにスイカを狙います。
「もっとまえー」「ちがーう」スイカの位置を伝える声にも熱が入ります。
連の利用者さんたちも目隠しをして
(車椅子を押すスタッフもちゃんと目隠しをしています)
柏保育園の皆さんの声を頼りにスイカを狙います。
狙いを定めて思いっきり棒を振り下ろしてもなかなか割れないスイカ。
「がんばれー!」という熱のこもった声援が飛び交います。
応援の力もあり、ようやく割れたスイカなのでした。

割ったスイカはみんなで美味しくいただきました。
初めてのスイカ割りの感想を参加されたお子さんに聞いていると
「たのしかった」「スイカがなかなか割れなかった」という意見が聞かれました。
みんなで楽しんだ夏の思い出の一日となりました。(工房2 田中)



喫茶活性化プロジェクト!

始動

「いつ開いているのかわからない」
「せっかくのスペースがもったいない」

そんな声に応え、2018年7月からこんがり工房は週5日の営業を始めました。そして2019年4月から「喫茶活性化プロジェクト」がスタートしました。連に通う利用者さんが講師となっで行なうワークショップや、店外にテントを出しての雑貨即売会、毎年夏に行なう連 GALLERY とコラボしてのスペシャルドリンク販売などなど、こんがり工房の喫茶スペースの活用、集客アップを目指し毎月あれやこれや話し合っております。



6月25日 カフェでワークショップを開催
クッキーのお土産付でした♪

こんがり工房の喫茶のスペースが、色々な人の居場所になればいいな…と思います。毎日活動しています。また連の日中活動には、色々な魅力を持った利用者さんが通ってきています。そんな利用者さんの魅力を発信する事ができる場、その魅力のある利用者さんとお客さんが出会う場にする、その出会いが継続的な関係になればいいな…とも考えています。私達(連の職員)が利用者さん(障害のある方々)の魅力を見つけ出す、それが伝わるよう、本人達が活躍する場になり運営していけるようになればと、日々思っています。

ただ、発想がまだまだ足りないと感じるのが現状で「カフェとはこうあるべき…」と既存の価値観に縛られてしまいます。そうでは無く、利用者さんの得意な事を活かし地域の人達と一緒に楽しむことを考えていき、こんがり工房の喫茶スペースが『出会いの場のカフェ』になるように目指して、これからも日々奮闘して行きたいと思えます。(羽田)



連 gallery スペシャルプロテインドリンク
期間限定 販売!!
後味すっきりカフェオレ味
その秘密とは?
① 豊富なビタミン
② 美容と健康に最適!
③ ダイエット効果も!

8月の作品展では期間中こんがり工房で
チラシ・ハガキご持参の方々に50円OFFや
スペシャルプロテインドリンクの販売も行いました

グリーンガーデン ~緑の庭~

工房2 板宮です
道端に彼岸花が咲いているのを見て、秋の訪れを冠実今日この頃です。
連に来られた方ならご覧になった事があるかもしれませんが
毎年私の家で育てたお花の苗を置かせてもらっていて
来所された方にご自由にお持ち帰りいただいています。
今まで秋の花だけでしたが、
今年初めて夏の花、アサガオとペチュニアを持ってきました。

今回も好評だったので大変な喜びと共に感謝の気持ちでいっぱいです。
ご自宅で咲いた花の画像を見せて下さった方もいらっしゃいました。
秋はパンジーとピオラで行う準備をしています。
次回もあなたの家で咲かせていただくとうれしいです。



苗を持ち帰って下さった方から
大きく育った写真を頂きました!

旭地区グループホーム便り

納涼祭を開催しました！

ファイン鶴ヶ峰では毎年8月頃に地域の方、子供達や日頃ボランティアで来ていただいている方や訪問サービスのスタッフを招いて納涼祭を開いています。

いつもは外に出て花火とかき氷を楽しんでもらうのですが、今年は台風の影響で風が強く、やむなく断念。かったので、花火はできませんでしたが、今回初めてホームの中に入ってもらいみんなでかき氷を一緒に食べました。こんなにたくさんの靴が並んだのは嬉しい限りです。

地域の方に、より知ってもらうだけでなく、4年目の今、日々ファイン鶴ヶ峰を見守ってくれていることへの感謝を伝える場としても大事な機会として今後も続けていきたいと思っています。

ファイン鶴ヶ峰 田中



good job !

「good job!」では日々支援に携わる連の職員たちのモチベーションや、仕事をする上で大切にしている事など…様々な想いを職員の言葉でつづります。是非、ご一読ください！（広報委員）

今回、相談支援事業の水野さんからバトンを受け取りました。グループホーム世話人の伊藤です。

皆さんのお手伝いや役に立ちたいという思いからこの福祉の仕事に関わらせて頂き、早くも10年が経ちました。連での日中活動支援を経て、現在はグループホームで働いています。朝見送り、夕方に迎え入れる。また、共に過ごし共に寝起きをし、同じ釜のご飯を食べる生活を過ごしています。正に家族みたいですね。(笑)

現在、親が亡くなった後に「どうすれば良いのか?」「どうなるのだろう?」「子供は?」など悩みが付きなれないといったご家族の方々が沢山いらっしゃると思います。その中の将来設計のひとつがこのグループホームです。生活スタイルはなるべく変わらないよう、本人やご家族の思いを尊重した支援を心がけています。この仕事を続けてこられたのは、話を聞いてくれる・受け止めてくれる仕事の仲間やご家族の皆さんが有る伊藤です。意外に支援させて頂く方も人間、支えがあるからこそ支援する力(活力)が沸くのではないのでしょうか?(笑) 日々感謝しています。ありがとうございます。(^-^)

そんな生活を送っている上でもう一つの私のモチベーションは【YouTube】を鑑賞する事です。お笑い、歌、素人投稿などなど盛りだくさんな内容があり、特に最近は動物動画に癒されています。以前はあまり見る機会はありませんでしたが意外に見るとはまります。まだ、見たことがない皆さんは是非見てみてはいかがでしょうか?



伊藤世話人

村上さん

では、次回のグッドジョブは日中活動支援事業の工房1担当の謎多き堤藤吾さんにバトンを渡したいと思います。今からどんな話しが聞けるか楽しみです。乞うご期待☆

←写真はこの原稿の依頼が来た日に起床時に撮った写真です。(笑)

ファイン西が岡 世話人 伊藤一樹

相談 nowadays

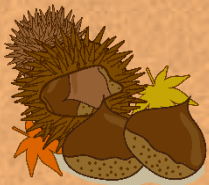
みなさん、こんにちは。すっかり秋らしくなってきましたね。

今回は、毎年開催している「旭区地域生活支援フォーラム」についてご案内します。

平成 30 年度版障害者白書によれば、何らかの障害のある方の約 9 割は、入所・入院ではなく地域で暮らしているそうです。

今年のフォーラムでは、「福祉サービスだけでは安心できない!? 障害のある人の暮らし～つながり・支えあうことの大切さ～」をテーマに、福祉サービスだけでなく、地域の方々の見守りに支えられて暮らしている事例を紹介し、福祉サービスと地域の方々の力、両方があるからこそ、住み慣れた地域で、安心して心豊かな生活が送れる。そのために福祉関係者や地域住民の方々それぞれができることをあらためて考えていただける機会になればと思っています。

12月7日(土) 旭公会堂にて開催します。
ぜひ、当日会場までお越しください。



旭区基幹相談支援センター

電話番号: 365-7000
(平日 9:00~17:00 受付)

夏休み余暇支援事業報告

学齢期・成人期合同クッキング! 参加者は最多の9名に加えてボランティア3名、スタッフ5名の計17名が集まりました。ボランティアについては2名が地域の方です。常連でとても頼もしい存在です。また1名はボランティアセンターからご紹介頂きました。この継続の縁・新たな縁に感謝です。2つのグループに分かれ賑やかな雰囲気の中でカレーを協力して作り、出来上がったカレーは忘れられない味となったのではないのでしょうか? みなさんからの「美味しいね! また作りたいな」という言葉はとても印象深く残っています。積極的に野菜を切る方や、久しぶりに包丁を握りトライしてみる方もいて、このプログラムが大きなチャレンジをしてみたいという意志を応援できるきっかけとなったのならこんな嬉しいことはありません。(大野)



<八景島シーパラダイス>

近付いてくるマンボウの大きさに驚きながらも触れ合いを楽しみ、海の動物達のショー「Mr. マリックプレゼンツ シーパラ超魔術団」のイリュージョンでは「凄いね!」とスタンディングオベーションをして驚きと感動を得た参加者がいました。その様子が微笑ましかったです。



<海老名運動公園プール>

プールの魅力のひとつである浮遊感。その感覚を存分に受けようと身体力を抜いて水の流れに身を任せたり、無邪気にスタッフと水をかけ合う遊びをしたり、排水溝に水が溜まっては吸い込まれる様子を面白いと感じて見続れたり、楽しみ方は一人一人違っていました。とことん楽しんでみるって大事ですね!

【主な予定】

- **11月22日(金) 連 運営委員会**
10:30～地域交流室
- **12月4日(水)おはなし会** 11:15～11:45
地域交流室にて小さなお子様とその保護者の方が対象です。
- **12月7日(土)**
第12回旭区地域生活支援フォーラム(詳細P7)
- **12月23日(月)日中活動「納め会」**
- **年末年始休業のお知らせ**
12月28日(土)～R2年1月5日(日)まで全事業、年末年始休業とさせていただきます。
※おもちゃ文庫、地域交流室もお休みです。
- **1月6日(月) 日中活動「年始の会」**
- **1月10日(金) 10時～12時**
旭区自立支援協議会 代表者会議
- **1月14日(火) 日中活動「成人を祝う会」**
- **2月12日(水) 10時～12時**
旭区地域子育て支援拠点 ひなたぼっこさん
おもちゃ文庫にひなたぼっこさんが来ます！子育てパートナーさんによる子育て相談もできますよ。
- **3月4日(水) おはなし会**
11:15～11:45 地域交流室にて小さなお子様とその保護者の方が対象です。

【ボランティアさん募集】

サポートセンター連では、日中活動を中心にボランティアさんを募集しています。ボランティアに興味をお持ちの方は、ぜひ下記までご連絡ください。
問合せ先：360-9778 担当：成田

～編集後記～

この広報誌が発行される時には既に試合が終わっていると思いますが『ラグビーワールドカップ2019』、初の日本開催で今までルールを知らなかった人たちが熱い声援を送っていたのではと思います。開催中は日本の「おもてなし」が各メディアから賞賛されていましたが、海外のラグビー選手たちの日本に対する気遣いや心遣いなども心温まる物でした。開催国の日本の背景や文化を受け入れ・寄り添う対応は、スポーツマンシップだけでは言い表せない姿だったのではと思います。相手に対するリスペクトの信念は国を超え民族の壁を無くし、選手・ファン・そしてラグビーを知らなかった人たちが巻き込んでいった熱は、まさに[ONE TEAM]でした。日々過ぎていく中でも相手に対するリスペクトの気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思う、今日この頃です。

(広報委員 一戸)

もう連にとっては毎年恒例！(笑)
自治会のおまつりに今年も模擬店を出店し参加させて頂きました。
こんがり工房のパンもあつという間に完売！自主製品も多くの方々に手に取って頂きお買い上げ頂きました。



焼き鳥は今年も大変多くの地域の皆様にお買い求め頂き最後まで長蛇の列が途切れることなく、私達も必死に焼いては販売をさせて頂いていました。気が付けば、あつという間に販売終了時刻を迎えておりました(笑)今年初参加の若手職員が…並んで下さった方々の多くの方が連をご存知で「おもちゃ文庫へ遊びに行っています！」や「ミニイベント参加した事があります！」等、声をかけて下さったようで、改めて地域の方々に連を知って頂いている事を実感できた！と話してくれました。



お祭りの抽選の景品に連のこんがり工房のお買物券を採用して頂いていますので、お祭りが終わってもお買物券を持って地域の方がこんがり工房に来て下さっています。

地域交流担当 禾木



地域交流イベントやおもちゃ文庫ミニイベントの情報はfacebookなどにも掲載しています！是非ご覧ください！

地域活動ホームサポートセンター連

検索

●訪問の家ホームページ

<https://www.houmon-no-ie.or.jp/>

●連のブログ(訪問の家ブログ)

<https://www.houmon-no-ie.or.jp/blog/ren/>

●Facebook

<https://www.facebook.com/supportcenterren/>